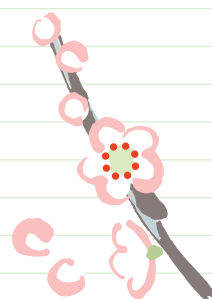


祝 城里町 成人式

新成人の門出を祝う成人式典が、1月13日(日)にコミュニティセンター城里において開催されました。今年の新成人は318人です。新成人で構成する実行委員会が式典を企画・運営し、当日は251人の新成人が華やかな晴れ着や真新しいスーツ姿で出席しました。

式典では、金長町長が「生まれ育った郷土、城里町に誇りを持ち、若者の柔軟な発想と知恵で、まちづくり、地域づくりに積極的に参画していつて欲しい」と激励の言葉を送ると、新成人を代表して実行委員長の木村淳さんが、「多くの人に支えられていた20年間だったと感じることができ、感謝の気持ちがあふれてくる。成人者としての自覚や責任を持ち、自分に何ができるのか考え、地域社会に貢献していきたい」と、力強く決意を述べました。式典後には、抽選会や記念写真の撮影が行われ、友人と笑顔で話す姿が見られました。



— はたちのひとこと —

新成人の皆さんから寄せられたコメントを一部紹介します

- 成人式を新たな出発点として、これからも自己を磨き続けていきたい
- 夢をかなえて幸せになる
- 早いものでもう人生の4分の1ほど過ぎてしまった。これからの人生、自分に恥じ入ることのないよう生きていきたい
- 成人しても子供心は忘れず、はっちゃけて生きてこうと思う
- カッコイイ大人になる
- 大人としての第一歩なので、常識あるマナーや社会人としての品格を心掛けたい
- 成人式を迎えたが、学生生活が終わり社会に出て初めて実感すると思う
- 人との交流を大切にして、いい人間関係を築いていけるように努力したい
- ここまで育ててくれた両親に感謝。ありがとう
- 人生まだまだこれからだ！楽しいこう！



新春賀詞交歓会

1月11日、コミュニティセンター城里で「平成20年新春賀詞交歓会」が開催されました。町内各界の代表者や行政関係者など約150人が出席しました。

発起人を代表して金長町長は、「城里の豊かな自然を守り、地域の農業や歴史、そして町民の知恵や技を生かしながら町づくりに取り組んでいきたい。また、11月に町で開催される国民文化祭川柳大会は、町の情報を外に発信するよい機会なので、ぜひ成功させたい」とあいさつ。また、小林町議会議長や石川県議が新年のあいさつを述べました。

各々が町の経済活性化や発展への決意を新たに、新年のあいさつを交わし、親睦を深めました。



町施設にまゆ玉寄贈

1月15日、加藤木力さん、木村輝芳さん、黒澤正行さん、田上勇夫さんが、常北保健福祉センター及びコミュニティセンター城里へまゆ玉を届けてくれました。ミズキの枝に赤白緑黄の餅をいっぱいにつけた鮮やかなまゆ玉が、ロビーに飾られました。

また、毎年学校行事としてまゆ玉作りを行っている古内小学校では、1月16日に児童を代表して、大坪完匡くん・高野歩美さん（6年生）、鯉淵航くん・加藤綾華さん（5年生）が、作ったまゆ玉を町長室や桂図書館郷土資料館など公共施設10施設に届けてくれました。

まゆ玉は、木の枝にまゆの形にまるめた紅白の餅や米の粉の団子をつけたもので、餅花や木綿玉など、養蚕や綿花を作る地方によって呼び名が異なります。五穀豊穡を願って飾られた小正月の伝統行事です。



星空観察会

「ウィークエンドスクール星空観察会」が、12月15日(土)にふれあいの里の天文台で行われ、町内の小学生と保護者33人が参加しました。

参加者は、講師の中川義通さん（ふれあいの里天文同好会会員）による手製のプラネタリウムを使った星座の説明を聞いた後、冬の澄んだ夜空を観察。天体望遠鏡で月のクレーターをはっきりと見ることで、子どもたちは歓声をあげていました。



桂コンドルズが健闘

県北、県央地区を中心に50チームが参加した、新聞杯が日立市で行われました。大会に出場した桂コンドルズは、11月24日に準決勝で上中妻ニューフレンズ（水戸市）と対戦。双方の固い守りで7回裏まで戦って0対0、お互いに一歩も譲らない白熱した好勝負を繰り広げました。延長戦に入らず、残念ながら抽選で負けて第3位となりましたが、健闘しました。また、11月26日に行われた平磯大会では優勝、12月8日のいばらきチャレンジカップでは準優勝と、好成績を収めました。

